

1 3 財 務

(1) 教育研究と財政

【現状の説明】

設置者である島根県は、国の「三位一体の改革」により平成16年度に財政的に大きく依存している地方交付税が大幅に削減されるといういわゆる「地財ショック」に見舞われた。これにより、県は大幅な財源不足に陥っており、財政当局からは、大学予算も聖域ではありえず、徹底したコストの削減、効率化を求められている。

こうした財政状況から平成16年度の本学の年間予算には、執行保留が設けられ、徹底した経費の節減に努めている。執行保留の状況は次のとおり。

研究費	・・・	2%の執行保留
管理委託費、光熱水費	・・・	5%の執行保留
図書・視聴覚整備費	・・・	20%の執行保留
大学の諸事業	・・・	10～30%の執行保留

歳出総額に占める授業料、検定手数料、入学料の合計額（いわゆる自前の財源）の割合は、概ね35%となっており、残りの3分の2は、設置者である県の財源措置により賄われる構造となっている。

【点検・評価】

良質な教育サービスの提供、高度な研究活動や地域貢献活動の展開を求められているが、県の財政状況が極めて逼迫しており、これらの活動に対する十分な予算確保が難しくなってきている。

【将来の改善・改革に向けた方策】

急速な少子高齢化の進行や国立大学の独立行政法人化などを背景に大学間競争はますます厳しい状況を呈している。このため、学長のリーダーシップの下「大学将来構想検討懇談会」等が設けられ、財政問題も含めて精力的な検討を行っている。

(2) 予算編成

【現状の説明】

予算編成は、設置者である島根県の予算編成方針及び日程に沿って行われる。最終的には島根県議会の議決によって年度予算が決定される。

学内における予算要求書のとりまとめは、学長のリーダーシップの下、事務局において集約した後、運営委員会を経て評議会に諮った上で、設置者へ要求している。

本学からの要求書は、設置者の所管課である総務部総務課へ提出し、財政当局との予

算折衝等は、総務課をつうじて行っている。

【点検・評価】 【将来の改善・改革に向けた方策】

設置者と緊密な連携をとることで、必要な予算措置が取られている。特記すべき点はない。

(3) 予算の配分と執行

【現状の説明】

予算の実質的な配分は、予算要求とりまとめ時に行っている。予算査定を経て予算が決定された際は、評議会に諮って、学長が決定する。ただし、平成16年度当初予算は、予算要求後に、国の地方財政計画等の変更による県全体の歳入見積もり額の大幅減が生ずるなどの影響により、執行保留が設定された。

執行保留を踏まえての予算執行に当たっては、事務局の各事業担当グループにおいて事業計画を精査するとともに、各教員が執行するいわゆる研究費についても、学長のリーダーシップの下、運営委員会、評議会の場や各教員に対して県の財政事情を説明し、保留額を設定した。

歳出予算の執行は、設置者から令達される予算に基づき、地方自治法及び島根県会計規則で定められた手続きにより行っている。

予算執行に伴う効果分析については、設置者である島根県が導入した行政評価システムのひとつである「事務事業評価」が実施されている。

【点検・評価】

学長のリーダーシップにより、学内の協議機関及び最高意思決定機関である評議会に諮った上で、要求案を決定している。要求原案の作成は、事務局職員（グループ課長）が専門委員会に正規な委員として参画し、各委員会の要望、計画を予算要求に反映している。

【将来の改善・改革に向けた方策】

行政評価システムの1つである「事務事業評価」を実施することにより、予算執行に伴う効果を検証しているが、事務事業評価結果の具体的な活用は、これからである。

ただし、現在行っている事務事業評価は、行政施策用のシステムであり、大学運営に関する評価手法としては、熟していない点（評価シートにある項目・・「必要性」「県関与の妥当性」）があり、大学評価システムの一環として今後、評価基準等を検討していく必要がある。

(4) 財務監査

【現状の説明】

行政評価システム導入の目的の1つは、県民に対する行政の説明責任であり、事務事業評価結果は、県のホームページに掲載されている。

また、地方自治法第199条に基づき、予算の執行、収入、支出、契約、現金及び有価証券の出納保管、財産管理等の事務については、監査委員による定期（財務）監査があり、概ね2年に1回の監査を受けている。この監査結果も、県報や県のホームページに掲載され、公開されている。

これらのほかに、島根県会計規則に基づいて、会計事務処理に関して島根県出納局が実施する会計検査を毎年受けている。

【点検・評価】 【将来の改善・改革に向けた方策】

定期監査により厳正なチェックを受け、指導を受けた場合は、改善措置を講じている。